

夢を紡ぎて

上田市立長小学校
学校だより

令和2年10月27日

子ども達の子ども達による 長小オリンピック！！

10月16日に「長小オリンピック」を行いました。

新型コロナウイルス対応で、学校生活や学校行事の変更が多い中、「今だからできることは何か。今だからやらなければいけないことは何か」と考え、「長小オリンピック」に取り組みました。

各学年種目は、3密を避け、学年ごとに考えました。それを受け、6年生が担当学年に入り、必要な道具を確認し、打合せや進行を考え、長小オリンピックに向け、少しずつ少しずつ準備を進めていました。

当日は、代表委員の堂々とした姿による開会の言葉、児童会長の挨拶、そして、学年の種目に応じた進行と実況中継。何よりも、全校の児童のために走り、声をかけ、一生懸命な6年生の姿に心が動かされました。また、各学年でも、竹の持ち方や作戦を考えたり、どんな内容にしようかと話し合ったり、自分たちで考え相談し取り組んできた成果が見られました。友達をカー杯応援する姿にも、さすが長小学校の子ども達！と心が温かくなりました。

子ども達は、自分たちで考え、やりたいと願ったことを実現することの大変さと楽しさを味わったのではないかと感じています。この自分たちの願いに向かって考え工夫し実現を目指して努力することが、生きる力に繋がっていくのだと考えます。子ども達の素晴らしい力を感じる「長小オリンピック」でした。

聖火点灯



全校そろってのラジオ体操



3年 竹引き



1年 玉入れ



2年 障害物競争



4年 台風の日



5年 リレー





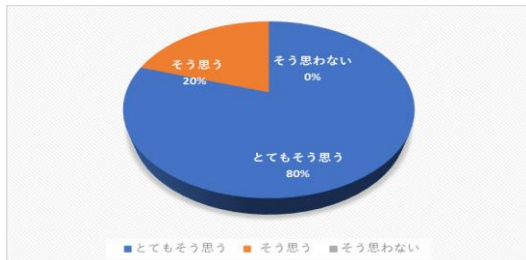
6年 借り物競争

6年生に感謝！来年は今年の6年生のように頑張りたいです。（5年生より）

学校評価 わかる授業を目指して 1学期実施

1 職員アンケートより

①児童にわかりやすい授業を心がけている。

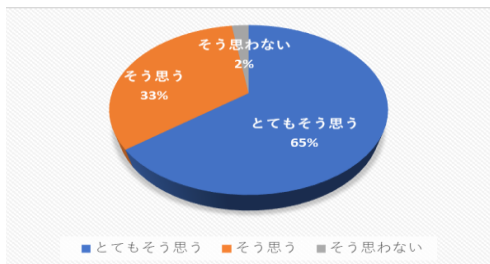


・わかりやすい授業に向けての取り組み

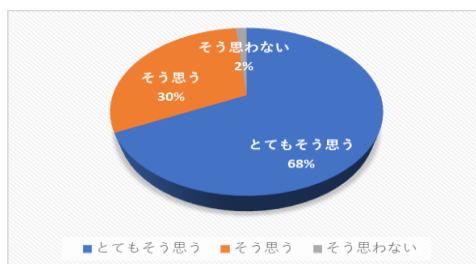
- ①板書の工夫
- ②課題やめあてを明確にする。
- ③ペアやグループで考えたり話し合ったりする場面の設定と工夫
- ④一人一人の困り感に寄り添った学習プリントや学習場面を作る。

2 児童アンケートより

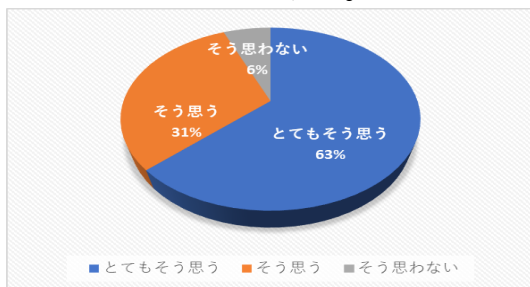
①授業はわかりやすいですか。



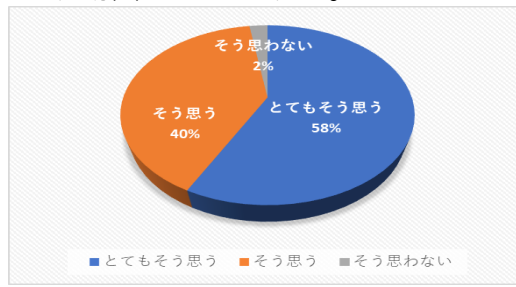
②板書はわかりやすいですか。



③授業で何を考えるのか(課題やめあて)がはっきりしていますか。



④友達やグループで話し合っって答えを出す場面がありますか。



【考察】

- ・ 授業がわかりやすいと感じている児童の割合が高い。児童一人一人の困り感に寄り添った授業を考えた、1時間の授業の目当てを示す授業を職員一人一人が心がけているからではないか。
- ・ 課題がわかりにくいと感じている児童が6%、グループや友達と考えを伝え合いたいと感じている児童が2%いることを大事に受け止め、改善を考えていきたい。

【今後への取り組み】

- ・ 児童が考えを伝え合ったり話し合ったりする中で学習への理解や満足感を高めていくような、友達やグループ活動を、学習内容に応じて取り入れていく。
- ・ 視覚支援や体験活動を取り入れて、児童が目当てに向かって学習しやすいように考えていく。

子ども達が安心して学校生活を送ることができるようにと、まず、学習に絞り学校評価アンケートを実施しました。8月には研修会を実施し、公開授業を行いながらわかる授業を目指して研究を進めています。

現在、休業なく登校できていたときの通常の学習進度を100%とした場合、10月末まででは、85パーセント以上の学習を進めることができます。今後も一人一人を大事にした授業に取り組んでいきます。